



北町商店街 京都文化フェア・マーケット開拓支援事業

民藝の美展

出品作家名 河井 寛次郎／浜田 庄司／棟方 志功／金城 次郎／芹沢 銈介／バーナード・リーチ その他民藝作品

開催期間 平成28年10月1日～11月30日

閲覧時間 11:30～16:00

展示場所 国登録有形文化財田中源太郎翁旧邸
楽々荘洋館二階ギャラリー
〒621-0861 京都府亀岡市北町44番地
(北町商店街の中にあります)

入場料 無料

お問合せ 080-2417-2929(北町商店街)

民藝運動について

民藝運動は、1926(大正15)年に柳宗悦・河井寛次郎・浜田庄司らによって提唱された生活文化運動です。当時の工芸界は華やかな装飾を施した観賞用の作品が主流でした。そんな中、柳たちは、名も無き職人の手から生み出された日常の生活道具を「民藝(民衆的工芸)」と名付け、美術品に負けない美しさがあると唱え、美は生活の中にあると語りました。そして、各地の風土から生まれ、生活に根ざした民藝には、用に則した「健全な美」が宿っていると、新しい「美の見方」や「美の価値観」を提示したのです。工業化が進み、大量生産の製品が少しずつ生活に浸透してきた時代の流れも関係しています。失われて行く日本各地の「手仕事」の文化を案じ、近代化=西洋化といった安易な流れに警鐘を鳴らしました。物質的な豊かさだけでなく、より良い生活とは何かを民藝運動を通して追求したのです。

「民藝」の趣旨—手仕事への愛情

1. 実用性 鑑賞するためにつくられたものではなく、なんらかの実用性を供えたものである。
2. 無銘性 特別な作家ではなく、無名の職人によってつくられたものである。
3. 複数性 民衆の要求に応えるために、数多くつくられたものである。
4. 廉価性 誰もが買い求められる程に値段が安いものである。
5. 労働性 くり返しの激しい労働によって得られる熟練した技術をともなうものである。
6. 地方性 それぞれの地域の暮らしに根ざした独自の色や形など、地方色が豊かである。
7. 分業性 数を多くつくるため、複数の人間による共同作業が必要である。
8. 伝統性 伝統という先人たちの技や知識の積み重ねによって守られている。
9. 他力性 個人の力というより、風土や自然の恵み、そして伝統の力など、目に見えない大きな力によって支えられているものである。

このような特性をもった民藝品は、どこの国にも存在します。なかでも日本は、世界的に見ても独自の性格をおびた民藝品を数多く作り出してきました。日本は、自然地理の条件から見ると、南北に長い国土を持ち、気候的にも変化が大きく、各地のさまざまな生活様式から生み出された種類豊かな工芸品の素材を自然のなかに育んできました。歴史的な条件から見ると、日本は島国で、しかも江戸時代には長いあいだ鎖国政策をとっていたため、外国との交流があまり行われませんでした。加えるに、各藩は封建制度のなかでこそって自国の産業や文化の育成に力を注いできました。こういった条件の積み重ねの結果、日本に固有の工芸文化が生まれ、各地に地方色豊かな民藝品の数々が生まれました。柳宗悦が、日本を「手仕事の国である」と呼んだ由縁なのです。

かめおか北町商店街

北町商店街は、「城下町商店街」として歴史ある街づくりに取り組んでいます。文化を通して商業の発展と美術を楽しんでいただく催しを企画しました。敷居の高いものだと感じる方々が多いとは思いますが、ご安心ください。分からない事等ございましたら、お気軽にお問合わせください。

土日祝 銀座屋カフェOPEN!
トウクトウク1日5便運行!
トロッコ到着時間に合わせて、
トロッコ亀岡駅・JR亀岡駅・北町商店街を周遊しています。

〒621-0861 京都府 亀岡市北町44番地
お問合せ 080-2417-2929
HP <http://kameoka-kitamachi.com/>

